

1 漢字の部首の指導について (3年)

【板書事項】

部首 覚えやすい

まとめられる

漢字の分け方のもとになる

へん

きへん 林板柱

にんべん 休体作

つくり

のぶん 数教

おおがい 顔頭

かんむり

たけかんむり 答筆

くさかんむり



花 葉 草
植物に関連

【指導の流れ】

- 1 部首について、説明する。
「漢字の多くは、いくつかの部分に分けることができます。分け方の基になる部分を部首といいます。」
- 2 部首という考え方で漢字を分類することのよさを考えさせる。
「みなさんは、今まで多くの漢字を勉強してきました。部首を知ると、どんなよさがあるでしょう。」
C「覚えやすい。」
C「仲間同士まとめて考えられる。」
- 3 代表的な部首を知らせる。
「部首には、へん・つくり・かんむりなどがあります。」
- 4 部首がもつ意味を考えさせる。
「漢字の部首には、共通する意味があることが多いのです。くさかんむりは、どんな意味をもつでしょう。」
C「花」「植物」
C「花」「植物」
「次の部首に共通する意味は何でしょう。」
・さんずい ・こんべん ・ふるとり
「漢字の部首を知っていれば、漢字が覚えやすくなったり、意味を想像しやすくなったりしますね。」

【留意点】

- 1 「部首」という言葉を確実に覚えられるよう、板書し、声に出して確認させる。
- 2 たくさんの漢字を学習してきたことを想起し、漢字を分類・整理して考えることの良さを、実感できるようにする。
- 3 代表的な部首について板書する。部首とそれ以外の部分が分かりやすいように色分けして示す。
- 4 同じ部首同士の漢字をいくつか示し、共通した意味を考えさせるようにする。部首の意味を考えれば、漢字を覚えやすくなったり、知らない漢字の意味を類推しやすくなったりすることを感じさせたい。